

就業中の虫刺されに注意！！

気温が上がると害虫やさまざまな虫が発生しやすくなります。夏から秋にかけて、屋外でお仕事をしている方が蜂に刺される事故が県下で立て続けに起こっています。蜂刺されは最悪の場合、死につながりかねません。秋はスズメバチの活動が活発になるため、特に注意が必要です。蜂のほか、就業場所に毛虫がいることに気づかず刺されてしまったという事故も起こっています。

スズメバチから身を守るために

特に攻撃的になるのは8月～10月

秋口は繁殖の時期でもあるため、非常に狂暴になっています。巣に近づくだけでも攻撃される危険性があります。

就業前に巣がないか必ず確認

この時期のスズメバチの巣は、ほぼ球形で縞模様ができるのが特徴です。軒下や樹上、生垣の中など、さまざまな場所に巣が作られます。

就業中にスズメバチの巣を発見したらただちに就業を中止し、発注者と相談して専門の業者等に駆除してもらおうようにしましょう。

もしも刺されてしまったら

すぐにその場を離れ、傷口をよく洗い流すなどの応急処置をして、病院へ行きましょう。症状がひどく自力で通院できない場合は周囲の人に救急車を呼んでもらってください。

